

日本臨床検査自動化学会医療情報委員会  
令和4年度第1回委員会 議事録

1. 日時：令和3年4月17日（土） 15時10分～16時10分
2. 場所：ホテルグランデはがくれ（佐賀県佐賀市） ※Zoomによるハイブリッド開催
3. 出席者：片岡、長原、和田、中島、前田、真鍋、山田、瀬戸山、下坂、湯地、田中、古賀、増田、佐藤、油野  
アドバイザー：松下、萩原  
欠席者：なし

4. 配布資料

資料1：前回議事録

資料2：2021年度活動計画

資料3：第3回技術セミナーオンデマンド視聴ログ

5. 議事

1) 前回議事録の確認

- ・資料1に基づき、片岡委員長より前回議事録の報告がなされた。
- ・前回議事録に関して、委員からの発言はなかった。

2) 報告事項

(1) 2021年度活動計画について（資料2）

(2) 第3回医療情報委員会技術セミナー報告（資料3）

- ・アクセスログ解析では視聴回数87回、ランキングは20位であった。
- ・資料に基づき、片岡委員長より第3回技術セミナーについての報告がなされた。

3) 審議事項

(1) 第4回医療情報委員会技術セミナーについて

- ・片岡委員長より、本年度の技術セミナーに関しては、下記のテーマにてコロナ対策として実技を行わない2時間の講習形式とする点が提案され、全会一致で承認された。
- ・テーマについては、活動予定では「臨床検査データを解析するために知っておくべきPoint」としていたが、審議の結果、「臨床検査情報を管理するために知っておくべきPoint」に変更となった。
- ・形式は5つの演題でシンポジウム形式とすることとなった(1演題15-20分程度を予定)。
- ・講演テーマや講演の概要について、以下のような方針とすることとなった。

1. 「項目コードのあるべき体系」（仮）

- ・内容については、主に項目コードの基本的な骨格、普及に向けた問題点とする方針と

なった。

- ・ 演者については、以前本委員会の委員であった清水一範先生を第一候補とし、承諾が得られない場合には医療情報システム開発センター（MEDIS）の付番委員会に適任者がいないか打診することとなった。

## 2. 「項目コード運用の注意点」（仮）

- ・ 内容については、主に LIS レベルでのローカルコード併用した JLAC10・11 導入と HIS、SSMIX-2 への移行の流れについてとする方針となった。
- ・ 演者については、九州大学の山下貴範先生に打診することとなった。

## 3. 「項目コードの世代管理についての問題提起」（仮）

- ・ 内容については、主に実際の運用時の項目コードの管理における問題点や、課題等について実例を交えて提起する方針となった。
- ・ 演者については、増田委員に決定した。

## 4. 「IS015189 の視点から見た項目コードの管理」（仮）

- ・ 内容については、ロット等を含めたコードの管理の仕方について IS015189 で文書化が求められていることから、ISO 取得施設からコード管理に関して苦勞している点や、今後導入を検討している施設に向けたアドバイス等とする方針となった
- ・ 演者については、佐藤委員より数名に打診して頂くこととなった。

## 5. 「結果の表現型に関する問題点」（仮）

- ・ 内容については、主な定性の結果や半定量値の表現型のバラツキ、外注検査の結果の取り込みの標準化に関する問題を提起するという方向となった。
- ・ 演者については、片岡委員長に決定した。

- ・ 司会やそのほか審議が必要な事項に関しては、今後メールにて審議していくこととなった。

### (2) その他

片岡委員長より追加の審議事項について提案を求めたが、委員からの提案はなかった。

### 4) その他

(1) 金沢大学学長に就任された和田委員より、ご挨拶があった。

#### (2) 次回開催予定

日本医療検査科学会第 53 回大会開催時

10 月 7 日(金)～9 日(日)のいずれかで開催予定

パシフィコ横浜(Web 併用のハイブリッド開催を予定)